



2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社アクシーズ 上場取引所 東
 コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊地知 高正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 榊 茂 (TEL) 099-223-7385
 定時株主総会開催予定日 2023年9月20日 配当支払開始予定日 2023年9月21日
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績(2022年7月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	24,101	10.9	1,911	△22.1	1,977	△25.9	1,410	△27.4
2022年6月期	21,725	2.7	2,453	△27.2	2,669	△23.9	1,943	△19.4

(注) 包括利益 2023年6月期 1,511百万円(△22.5%) 2022年6月期 1,950百万円(△19.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	251.17	—	7.3	9.0	7.9
2022年6月期	346.07	—	10.8	12.8	11.3

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 2百万円 2022年6月期 3百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	22,636	19,750	87.2	3,516.95
2022年6月期	21,408	18,772	87.7	3,342.87

(参考) 自己資本 2023年6月期 19,750百万円 2022年6月期 18,772百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	2,635	△2,180	△572	6,152
2022年6月期	2,027	△3,123	△527	6,270

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	—	0.00	—	95.00	95.00	533	27.5	3.0
2023年6月期	—	0.00	—	96.50	96.50	541	38.4	2.8
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	95.00	95.00		53.3	

(注) 2023年6月期期末配当金の内訳 普通配当 95円00銭 設立60周年記念配当 1円50銭

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	24,700	2.5	1,300	△32.0	1,400	△29.2	1,000	△29.1	178.07

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2023年6月期	5,617,500株	2022年6月期	5,617,500株
2023年6月期	1,783株	2022年6月期	1,758株
2023年6月期	5,615,736株	2022年6月期	5,615,795株

(参考) 個別業績の概要

2023年6月期の個別業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	20,546	11.3	1,379	△27.5	1,723	△23.4	1,329	△24.3
2022年6月期	18,467	1.6	1,902	△32.5	2,250	△29.0	1,757	△21.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年6月期	236.72		—					
2022年6月期	312.90		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年6月期	18,605		16,432		88.3	2,926.14		
2022年6月期	17,535		15,535		88.6	2,766.50		

(参考) 自己資本 2023年6月期 16,432百万円 2022年6月期 15,535百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きがみられましたが、緊迫した国際情勢、資源価格等の上昇、円安の進行など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

鶏肉業界におきましては、主要製造コストである飼料原料価格が大幅に高騰していることに加え、その他人件費等の製造コストの上昇が継続しております。また、消費者の内食需要の高まりや他畜種に対する価格優位性から、鶏肉相場は安定しているものの、国内における鶏肉の生産が増加したことにより、需給バランスは緩んできており、今後も厳しい状況が続くものと思われま

す。このような経営環境のもと、当社グループは、飼料製造段階から、飼育、鶏肉生産・加工までの全てをグループ内で行っていくことにより、様々なお客さまのニーズに応えることを目指しております。

食品事業では、最新鋭の大型肥育施設が新設稼働したことに加え、将来の生産能力増強及び効率化・省力化を企図した鶏肉加工工場群の改修投資を実施し、増産体制構築のための設備投資を順次進めております。

このような状況下、鶏肉相場が堅調に推移した結果、売上高は前期比11.8%の増収となりました。一方、主要製造コストである飼料原料価格が大幅に高騰していることに加え、設備投資の実施により減価償却費が増加した結果、利益面は前期比26.2%の減益となりました。

外食事業におきましては、昨年8月に兵庫県神戸市、10月には山口県柳井市に新店舗（KFC店舗）を出店した結果、売上高は前期比9.2%の増収となったものの、利益面では原価率が上昇したことに加えて、人件費等の増加を受けて前期比11.0%の減益となりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高241億1百万円（前期比10.9%増）となりました。利益面につきましては、営業利益19億11百万円（同22.1%減）、経常利益19億77百万円（同25.9%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は14億10百万円（同27.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 食品

売上高は201億36百万円（前期比11.8%増）、セグメント利益は12億86百万円（同26.2%減）となりました。

② 外食

売上高は34億98百万円（同9.2%増）、セグメント利益は3億26百万円（同11.0%減）となりました。

③ エネルギー

売上高は4億65百万円（同9.2%減）、セグメント利益は2億98百万円（同12.9%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ12億28百万円増加し、226億36百万円となりました。これは、主に売掛金が4億73百万円、有形固定資産が5億71百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ2億50百万円増加し、28億86百万円となりました。これは、主に買掛金が1億44百万円、未払金が1億6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ9億77百万円増加し、197億50百万円となりました。これは、主に利益剰余金が8億76百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は61億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億17百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、26億35百万円の資金増加(前期は20億27百万円の資金増加)となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が19億16百万円、減価償却費が15億80百万円、法人税等の支払額が6億12百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、21億80百万円の資金減少(前期は31億23百万円の資金減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が21億26百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、5億72百万円の資金減少(前期は5億27百万円の資金減少)となりました。これは、主に配当金の支払額が5億33百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率(%)	85.8	87.7	87.2
時価ベースの自己資本比率(%)	92.6	84.3	75.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3,441.8	438.5	436.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにおきましては、不安定な国際情勢や資源価格の高騰、金融資本市場の変動など、国内外の経済情勢の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループへの影響が大きい飼料原料価格については、世界的なコロナ禍からの需要回復やバイオ燃料消費の拡大に加え、ロシア・ウクライナの情勢悪化による穀物の供給不安およびサプライチェーン(供給網)混乱の長期化懸念により、価格が高騰・高止まりするものと想定しております。

こうした状況下におきまして、当社グループは生産性の向上により販売数量の最大化を目指すとともに、販売価格の適正化を進めてまいります。

また、消費者に対する安全・安心への信頼を保証すべく、更なる品質管理体制の発展に注力いたします。

以上により、通期連結業績見通しといたしましては、売上高247億円、利益面につきましては、減価償却費が増加することに加えて、飼料原料価格が高止まりすることが見込まれるため、営業利益13億円、経常利益14億円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては10億円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,280	6,162
受取手形	1	0
売掛金	1,917	2,390
製品	286	319
仕掛品	433	585
原材料及び貯蔵品	1,078	1,096
その他	1,006	992
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,003	11,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,044	1,966
機械装置及び運搬具（純額）	910	1,792
工具、器具及び備品（純額）	3,380	3,578
土地	2,370	2,375
リース資産（純額）	115	90
建設仮勘定	1,645	233
有形固定資産合計	9,466	10,037
無形固定資産	1	7
投資その他の資産		
投資有価証券	523	699
繰延税金資産	58	60
その他	354	284
投資その他の資産合計	937	1,044
固定資産合計	10,404	11,088
資産合計	21,408	22,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	522	647
未払金	1,286	1,392
リース債務	38	42
未払法人税等	220	162
その他	133	107
流動負債合計	2,202	2,353
固定負債		
社債	35	35
リース債務	92	59
繰延税金負債	0	0
役員退職慰労引当金	50	56
退職給付に係る負債	204	237
その他	49	143
固定負債合計	433	533
負債合計	2,635	2,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	17,777	18,654
自己株式	△2	△2
株主資本合計	18,656	19,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116	217
その他の包括利益累計額合計	116	217
純資産合計	18,772	19,750
負債純資産合計	21,408	22,636

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	21,725	24,101
売上原価	15,506	18,092
売上総利益	6,219	6,009
販売費及び一般管理費	3,765	4,097
営業利益	2,453	1,911
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	13
持分法による投資利益	3	2
受取家賃	17	17
為替差益	15	—
受取保険金	14	40
補助金収入	141	21
その他	19	32
営業外収益合計	225	129
営業外費用		
支払利息	4	6
為替差損	—	51
減損損失	2	1
その他	2	4
営業外費用合計	10	63
経常利益	2,669	1,977
特別損失		
固定資産除却損	5	—
減損損失	—	61
特別損失合計	5	61
税金等調整前当期純利益	2,663	1,916
法人税、住民税及び事業税	746	551
法人税等調整額	△26	△45
法人税等合計	720	505
当期純利益	1,943	1,410
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,943	1,410

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益	1,943	1,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	100
その他の包括利益合計	6	100
包括利益	1,950	1,511
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,950	1,511
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	16,339	△1	17,218
当期変動額					
剰余金の配当			△505		△505
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,943		1,943
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,438	△0	1,437
当期末残高	452	428	17,777	△2	18,656

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	109	109	17,328
当期変動額			
剰余金の配当			△505
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,943
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	6	6	6
当期変動額合計	6	6	1,444
当期末残高	116	116	18,772

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	17,777	△2	18,656
当期変動額					
剰余金の配当			△533		△533
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,410		1,410
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	876	△0	876
当期末残高	452	428	18,654	△2	19,533

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	116	116	18,772
当期変動額			
剰余金の配当			△533
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,410
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	100	100	100
当期変動額合計	100	100	977
当期末残高	217	217	19,750

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,663	1,916
減価償却費	1,090	1,580
減損損失	2	62
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	0
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5	5
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	14	33
受取利息及び受取配当金	△12	△14
その他の営業外損益（△は益）	△190	△108
支払利息	4	6
持分法による投資損益（△は益）	△3	△2
固定資産除売却損益（△は益）	5	—
売上債権の増減額（△は増加）	△91	△473
棚卸資産の増減額（△は増加）	△96	△203
仕入債務の増減額（△は減少）	41	124
未払金の増減額（△は減少）	△0	134
その他	△484	67
小計	2,948	3,130
利息及び配当金の受取額	12	14
利息の支払額	△4	△6
賃貸料の受取額	17	17
保険金の受取額	14	40
法人税等の支払額	△1,119	△612
その他	158	49
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,027	2,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△3,107	△2,126
無形固定資産の取得による支出	—	△8
投資有価証券の取得による支出	△27	△27
貸付けによる支出	△31	—
貸付金の回収による収入	47	—
その他	△4	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,123	△2,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21	△38
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△505	△533
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527	△572
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,623	△117
現金及び現金同等物の期首残高	7,894	6,270
現金及び現金同等物の期末残高	6,270	6,152

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業種別のセグメントから構成されており、「食品」、「外食」及び「エネルギー」を報告セグメントとしております。

「食品」は主に鶏肉(チルド及びフローズン)や鶏肉に加熱、味付け等を施した加工食品の製造及び販売を行っております。「外食」はケンタッキーフライドチキン及びピザハット店舗のFC事業を行っております。「エネルギー」は再生可能エネルギーの供給を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				連結損益計算書 計上額(注)1
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	18,009	3,202	512	21,725	21,725
外部顧客への売上高	18,009	3,202	512	21,725	21,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,009	3,202	512	21,725	21,725
セグメント利益	1,744	367	342	2,453	2,453
セグメント資産	18,266	2,124	1,018	21,408	21,408
その他の項目					
減価償却費	899	34	154	1,088	1,088
のれんの償却費	—	2	—	2	2
減損損失	2	—	—	2	2
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,168	54	19	3,241	3,241

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				連結損益計算書 計上額(注)1
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	20,136	3,498	465	24,101	24,101
外部顧客への売上高	20,136	3,498	465	24,101	24,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,136	3,498	465	24,101	24,101
セグメント利益	1,286	326	298	1,911	1,911
セグメント資産	19,655	2,074	907	22,636	22,636
その他の項目					
減価償却費	1,379	53	148	1,580	1,580
のれんの償却費	—	—	—	—	—
減損損失	62	—	—	62	62
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,055	138	115	2,309	2,309

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	3,342円87銭	3,516円95銭
1株当たり当期純利益	346円07銭	251円17銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,943	1,410
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,943	1,410
期中平均株式数(株)	5,615,795	5,615,736

（重要な後発事象）

該当事項はありません。